

あとがき

「ちかまつうるる読本」の第一巻「近松を味わう」を発刊いたします。この「近松を味わう」では、近松作品の紹介を中心とし、文楽や歌舞伎についても触れました。近松作品は、浄瑠璃・歌舞伎を合わせると百五十点余にも上るため、どの作品を紹介すべきか迷いました。そこで、さばえ近松倶楽部会員のアンケートを参考にして、収録作品を選びました。何分、ページに限りがあり、このような形になりました。近松作品を側面から理解するには、なんといいっても直接文楽・歌舞伎を見ることです。この本では、文楽観劇の手引きも記しました。巻末には、作品一覧と簡単な紹介を付しておきましたので、ご利用ください。

人間国宝中村鴈治郎氏には、揮毫きじょうをもって本書を飾っていただき、また人間国宝の吉田文雀氏には、「近松と文楽」について語っていただきました。厚く

お礼を申し上げます。

本書の編集にあたり、園田学園女子大学近松研究所の佐藤彰所長、同研究所の水田かや乃、井上勝志の両先生には終始、懇切なご指導をいただき、「近松の歌舞伎」についても、ご執筆いただきました。記してお礼申し上げます。また、福井大学教授三好修一郎先生には、さばえ近松倶楽部顧問として、献身的なご支援をいただいております。ここに、お世話いただきました諸先生方に重ねてお礼申し上げます、今後のご指導をお願い申し上げます。

さばえ^{ちからんぐん}近松倶楽部

平成十四年三月